

「自ら学ぶ児童の育成」—算数科の授業づくりを通して— ～学びの成果を実感できる振り返り場面の工夫～

I 研究の内容

研究主題に迫るために、継続研究3年目となる本年度は、学びの成果を実感できる振り返り場面の工夫に取り組んだ。振り返りの場면을工夫することは、児童が自信をもって学習に取り組み、自身の学習状況を自己診断する力を高めることにつながるという仮説に基づき、理論研究・授業実践を中心として校内研究に取り組んだ。

1 主題に基づく授業実践

平成29年度NRT検査結果分析を受け、学年の課題となる領域を意識した授業を公開し、参観し合い、授業後には授業改善のための手立てについての意見交換の場をもった。

(1) 研究授業

第2学年算数科授業実践 単元名 形を調べよう「三角形と四角形」

(2) 授業実践

第1学年算数科授業実践 単元名 どちらがおおい

第3学年算数科授業実践 単元名 かたちであそぼう「タングラム」

第3学年特別支援学級自立活動授業実践 題材名「すごろくをつくってあそぼう」

第4学年算数科授業実践 単元名 垂直・平行と四角形「四角形を調べよう」

第4学年理科授業実践 単元名 とじこめた空気と水

第5学年算数科授業実践 単元名 面積の求め方を考えよう

第6学年算数科授業実践 単元名 割合の表し方を考えよう「比と比の値」

2 主題に関わる理論研究

4月には、算数科の授業づくりについての学習会を行い、「小学校算数科における『説明』と『振り返り』 認知心理学からの検討」「学習感想の役割と様相について」「算数教科書学習感想例」等の資料を持ち寄り学び合った。10月には、振り返りの記述に関わる学習会を行い、各学年の児童の記述を持ち寄り、低・中ブロックごとの意見交流後、全体で情報の共有化を図った。児童の記述を山梨大学中村享史教授の「学習感想4つの段階」を参考にして実態把握をし、よいと思われる学習感想記述例を出し合い、指導者の有効な言葉がけ、今後目指していく学習感想レベルの確認をした。自分の成長への気づきの現れた感想やもっと知りたいという学習の次の段階について書かれている記述の紹介をすることや意見の根拠を詳しく書いた記述を紹介することで、児童の記述力を高めていくことを学び合った。

3 甲州市「確かな学力」育成プロジェクトとの連携

3部会との連携を図り、あいさつ運動・学習規律徹底のための活動、Q-U検査の実施

(年2回)と分析・活用, 祝小家庭学習の手引きの見直し, 家庭学習の推進, 「家庭教育・子育てQ & A」の活用等の取組を全職員の共通理解のもと行った。

4 各種調査結果の分析と課題把握

NRTテストの結果分析では, 数と計算などの基礎的・基本的な学習内容の定着, 用語, 図形についての理解に課題があることを確認するとともに, 効果があったと考えられる指導の工夫, 及び, 課題改善のために必要だと思われることの共通理解も図った。全国学力・学習状況調査, 山梨県学力把握調査の結果分析からも基礎的・基本的な学習内容の定着についての課題が見られたため, 業前学習に学び直しの機会を設定することを改めて確認した。算数科学習アンケートの実施・分析は, 前期と後期の2回行ったことで, 児童の変容をつかみ, 新たな課題を把握することにもつながった。

II 成果と課題

1 成果

- ・各種調査の結果分析から, 振り返りの場면을工夫することが, 児童が自信をもって学習に取り組めるようになること, 自身の学習状況を自己診断する力を高めることにつながるという成果を検証することができた。
- ・3年間を見通した研究計画の中で, 研究主題「自ら学ぶ児童の育成」にせまる算数科の授業づくりに取り組んだことにより, 一単位時間の授業の組み立てについて共通理解を図ることができた。また, 授業の「導入」「追究」「振り返り」という各場面に絞り研究したことで, 研究を深めることができた。
- ・授業後の共有化の時間の確保は, 授業者・参観者共に授業改善につながる学習の場となった。授業実践を通し, 教材の工夫, 自力解決・集団解決, 話し合い活動, 振り返り, 学習感想, 授業展開等, 具体的な手立てを確認することができた。
- ・校内のチャレンジ課題である九九やことわざ, 俳句等にもあきらめず挑戦する児童が多く, 学ぶことが当たり前を感じる環境, 雰囲気を整いつつある。

2 課題

- ・よりよい授業づくりのためにも, 教材研究の時間の確保をしていけるような校内研究の計画立てが必要であること。
- ・各種調査から捉えた課題について対応する時間を, 教育課程をこなしながら確保していくこと。
- ・学習規律の定着やよりよい学習集団づくりのために, 地道な継続指導をしていくこと。
- ・学習意欲が上がらない児童や学力の個人差への対応, 家庭学習の習慣の定着等の個の実態に応じた支援の手立てを具体化すること。

III 成果物

- ・研究授業, 授業実践の指導案, 実践記録, ワークシート, 資料等
- ・算数科学習アンケート ・ 祝小家庭学習の手引き ・ 授業改善のための具体的な手立て
(研究主任 堀井ますみ)